



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	(仮称)樹木ネトモ新越後島営業倉庫建築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-----------------------	-----	-----	--------	----	----

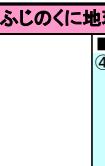
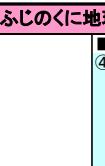
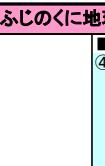
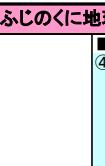
2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”的推進 (Global Warming)	#DIV/0!	/5	
”災害に強いしづおか”的形成 (Disaster)	2.9	/5	
”しづおかユニバーサルデザイン”的推進 (Universal Design)	3.5	/5	
”緑化及び自然景観”的保全・回復 (Nature)	2.8	/5	

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

内訳対応項目

各項目について記述した内容と、該当する番号(①~⑯)を示し記述してください。						
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)						
				得点		#DIV/O!
 <p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④ガルバリウム鋼板の耐用年数は20~30年</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地の46.8%分の空地を設け、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫鉄骨造のため、解体しやすい。 ⑬断熱材は発泡剤を使わず、グラスウールを採用した。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮卓越風向に対する建築物の見付面積比を22%とし、風通しが良くなるよう配慮した。また、敷地や建築物に対し十分な台数の駐車場を設置し、交通負荷が抑制できるよう配慮した。</p>	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
			3.2	3.2.1	③	昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	軸体材料の耐用年数
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
		2			⑧	自然エネルギー利用
		3			⑨	設備システムの高効率化
		4	4.1		⑩	モニタリング
			4.2		⑪	運用管理体制
LR-2	1	1.1		⑫	節水	
		1.2	1.2.1	⑫	雨水利用システム導入の有無	
			1.2.2	⑫	雑排水等利用システム導入の有無	
	2	2.1		⑬	既存建築軸体等の継続使用	
		2.2		⑭	軸体材料におけるリサイクル材の使用	
		2.3		⑭	軸体材料以外におけるリサイクル材の使用	
		2.4		⑮	持続可能な森林から産出された木材	
		2.5		⑮	部材の再利用可能性向上への取組み	
		2.6		⑯	有害物質を含まない材料の使用	
	3	3.1		⑯	消火剤	
		3.2	3.2.1	⑯	断熱材	
			3.2.2	⑯	冷媒	
LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮	
	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしづおか”の形成(Disaster)						
 <p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信赖性) ⑰電気設備に非常用発電設備を備えている。</p>					得点	
	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
			2.1.2	⑯	免震・制振性能	
		2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
			2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
			2.4.3	⑰	電気設備	
			2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
			2.4.5	⑰	通信・情報設備	
“しづおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)						
 <p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳水下梁天端がGL+9.53mとし、階高に余裕をもたせた。 ⑳壁長さ比率を0.07とし、空間にゆとりを持たせた。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑屋外に人感センサー付きの照明を設置し、防犯性に配慮した。</p>					得点	
	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑲	ユニバーサルデザイン計画
		3	3.1	3.1.1	㉑	階高のゆとり
				3.1.2	㉑	空間の形状・自由さ
Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”的保全・回復(Nature)						
 <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑴生物環境の保全と創出/⑵まちなみ・景観への配慮/⑶敷地内温熱環境の向上) ⑶敷地の46.8%分の空地を設け、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。</p> <p>■敷地外環境対策 (㉒持続可能な森林から産出された木材/㉓温熱環境悪化の改善) ㉓隣等間隔指数0.94を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復しやすいようにした。</p>					得点	
	Q-3	1		⑴	生物環境の保全と創出	
		2		⑵	まちなみ・景観への配慮	
		3	3.2	⑶	敷地内温熱環境の向上	
LR-2	2	2.5		㉒	持続可能な森林から産出された木材	
LR-3	2	2.2		㉓	温熱環境悪化の改善	